

子育て世代支援集合住宅整備及び富河地区ランプエリア構想(案)に対する 意見提出書

提出する場合は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入下さい。【令和7年7月30日(水)～8月22日(金)必着】

氏名 (団体等の場合は名称及び代表者名)	
住所 (団体等の場合は所在地)	
電話番号	
意見提出方法 (いずれか)	▽郵送 〒409-2192 南部町福士28505番地2 南部町役場 企画課 宛 ▽メール kikaku1@town.nanbu.yamanashi.jp ▽FAX 0556-66-2190 ▽持参 南部町役場 企画課 (本庁舎2階)

※ 提出いただいた意見は、町ホームページにおいて公表します。(個別の回答は致しません)

※ ご意見以外の項目(氏名・住所・電話番号)は公表しません。

※ 以下、ご意見のある項目ごとに記入してください。ご意見のある項目のみの記入で差支えありません。

子育て世代支援集合住宅整備について

意見欄

旧富河中グラウンドに集合住宅という発想が疑問。

子育て世代に定住する施策を考えるならば、集合住宅ではなく戸建てを考えるべき。

南部町には500もの空き家がある現実を考え、例えば空き家所有の方に所有維持か手放す考えがあるかを伺い、手放す考えがあれば更地にする為の補助を提示したり、まだリフォームで改築出来る物件なら格安で売却もしくは賃貸への意向を明確にして、空き家対策と並行して子育て世代の定住を進める。

子育て世代が定住する目的であれば、既存の空き家のリフォーム、もしくは空き家解体後の住宅建築に対する補助金を活用することで定住への足掛かりとなり得る。

その際にも地元企業と連携して住宅建設やリフォームを請け負って頂ければ、大型の集合住宅建設より資金の縮小が得られる。

子育て世代支援集合住宅整備場所について

意見欄

上記の理由で集合住宅建設は反対

南部町富河地区ランプエリア構想(案)について

意見欄

提示された1～5番の1番以外は良いと思われるが、図で示された各エリアが分かりにくい。

1番が計画から除外され、内容を煮詰めて再検討すべき。

グラウンドとしての機能は維持し、昨今の気象状況を鑑みて老若男女が集えて暑くても雨でもウォーキング出来たりくつろげるスペースを確保し、防災避難場所としても機能する建物の建設であれば町民誰もが利用できて有用と思われる。

この夏も熱中症警戒アラートが頻繁に発令され、外出は極力控えエアコンを適切に使用して過ごす様にオフトークで放送されている。1人暮らしの高齢者も多く、危険な日常の連続である状況をどう捉えているのだろうか。

昨年、クーリングシェルターとして開放された役場やアルファセンターも飲食禁止などの規制があり、自宅から避難しても1日過ごすことも出来ない条件でどのくらいの方が利用されたのか知らないが、今年はそのような案内すら聞かれず発案の甘さを感じられた。

こうした様々な問題にも対応できる拠点が理想であったが町の予算を考えると夢のような話と思っていた。

ところが、今回ランプエリア構想の中で子育て世代支援集合住宅に対して10億の予算が計上されるとの話でその金額が認められるのであれば、先に述べた防災拠点兼、町民憩いの建物の建設もあり得ると確信した。

少子化問題のみならず高齢化問題、人口減少問題等総合的に捉えても、ランプエリア構想に集合住宅建設ではなく防災拠点兼憩いの施設建設への転換を考慮されたい。